

— 南総地区の人口 —
人 口 22,679 人
男 11,428 人
女 11,251 人
世帯数 10,281 世帯
平成30年11月1日現在

編 集 南総地区社協
発行責任者 広報委員会
事務局 地区社協会長 小澤誠司
電 話 南部エリア 推進センター 92-1481

ふれあい

地域で守ろう『福祉のまち、南総』



通いの場（下矢田球友同好会）

前回の広報紙「ふれあい」にて、皆様にご協力のお願いを致しました。新たな高齢者福祉事業「通いの場」（月一回）につきまして、本年度分は十月末をもって受付が終了となりました。南総地区は皆様のご協力により、十九団体の方々が活動に入りました。

また、今後更に進行する少子高齢化社会における地域福祉を強固なものとし、福祉施策の明確化を図るために地域の代表者で発足致しました「南

総地区の皆様、日頃は南総地区社会福祉事業運営にあたり、「ご支援」協力を頂き、有難く感謝申し上げます。

平成三十一年度も後半に入り、本年度の事業計画も皆様のご協力を頂き順調に推められております。

「南総地区福祉行動計画策定委員会」が「南総地区福祉行動計画推進委員会」として本計画の推進管理を担い、関係団体と連携しながら計画の推進に努めて参ります。

本計画における「基本目標」の一つに「みんなの生活を支えるための体制づくり」が掲げられていますが、その中で

地域全体で支える仕組みづくりを進めるための「話し合い・

協議の場」として、十一月から、介護保険法に基づく「第一層協議会」が設置され、

「南総地区行動計画推進委員会」の皆様の兼務により、活

「南総地区福祉行動計画」決定する

動が開始されました。地域全体における幅広い活動が期待されます。

なお、南総地区の皆様に、

「南総地区行動計画」の指針を理解頂き地域ぐるみの推進を図るため、この冊子を町長を中心とした社協構成団体の皆様に配布、また南総地区のご家庭全戸に「南総地区行動計画概要版」を配布致し

ます。

地域の皆様のご理解ご協力ををお願いします。

（会長 小澤誠司）

敬老会事業の先にあるもの

高齢者みんなが元気なまちをを目指し、関係団体との強い連携の下、実行計画に基づき取り組んで参ります。

（編集委員）

福祉バザー



バザーの収益金は、新年を迎える時期に生活支援を必要とする人たちへの見舞金などに使われます。

今年も、十一月十八日（日）に開催し、各種団体のご協力と地域の方々の善意によって、多くの収益を上げることができます。

皆様に心から感謝致します。

（編集委員）

長年秋の恒例事業となつてきました敬老会事業は、昨年度をもって終了し、今年度からは、高齢者の健康維持やコミュニケーション、生きがいにつながる「通いの場」推進事業が始まりました。

ふれあい三六号でもご紹介

しましたが、地区社協の積極

的な取り組みと地域住民の深

いご理解により、現在十九団

体で「通いの場」が展開され

ております。

『地域福祉』という言葉が

使われて久しくなりますが、

当初漠然としていたものが、

今ではかなり明確になつてき

たと思います。

南総地区においてもこの

「ふれあい」発行にあたって、

当時の南総地区社会福祉協議会の木嶋美佐夫支部長が南総

地区的地域福祉のコンセプト

を「支えあい・ふれあい・助

け合い」とし、地域の誰もが

安心して暮らせる福祉の社会を

目指して、その一步を踏み出

しました。

その後、河津敏郎支部長の

時代に大きな変革があり、小

域福祉ネットワークの仕組みが構築されたことによって、地域福祉における様々な活動はさらに拡充することとなりました。

現在の地区社協は、地域の特性と人脈を最大限に活かす

ことによって、地域の皆様のニーズに的確に応えることのできるよう、先人達が築きあげてきた南総の地域福祉を推進しております。

敬老会事業は終了になりましたが、これからも高齢者福

祉への取り組みは、これまでの貴重な財源として

力をお願いしており、本年度も多くの皆さんからご支

援を頂き、十一月末現在で一、二七三、一〇〇円とな

りました。皆さまのご厚意に深く感謝申し上げます。

ご協力頂きました賛助会費は、地区社協の事業推進

のための貴重な財源として

有効活用させて頂きます。

今後益々増大する地域福

祉課題に対するは、各種団

体のご支援ご協力の下、生

涯この南総で安心して暮ら

せれるまちづくりに努めてま

ります。

今後とも地区社協運営に

ご理解ご協力をよろしくお

願い致します。

（編集委員）

【平成30年度福祉バザー実績報告】

バザー売上げ	486,900円
模擬店売上げ	6,100円
寄附金	182,880円
合 計	675,880円

表彰おめでとうございます

市原市表彰（自治功労）

齊藤 里枝さん（苦吉）

佐藤 政子さん（上高野）

市原市表彰（社会功労）

鎌瀬 政勇さん（日産）

市原市表彰（市原市貢献賞）

十三年にわたり、市原市貢献賞を受賞して介護保険事業に尽力された

市原市表彰（市原市貢献賞）



平成30年度南総地区賛助会費実績報告（H30.11月現在）

	協力者数	金額
個人	753	918,100円
団体	73	355,120円
合 計	826	1,273,220円

賛助会費実績報告

地区社協では、この行動計

「南総地区行動計画」がまとまりました。

この行動計画には地域ぐるみの福祉に積極的に取り組むために、独居世帯の高齢者を地域で支援する「安心生活見守り支援事業」など、今まで地区協会において取り組んできた重要な事業の維持拡充を基本として、着実にその成果があがるよう各施策の目標を明確にしています。

この行動計画とこれまで培われてきた地域住民同士の共助により、さらに南総地区的地域福祉が充実していくものと期待しております。

また、この行動計画においては、地域福祉の推進役を育むことを掲げておりますが、現状を分析すると高齢者が高齢者を見守るようなケースが見受けられ、今後は若い世代の参加が必至となつております。そのため、地域の方々の一層の理解と、参画を促す仕組みを新たに考えていくことも明確な課題となつています。

地区社協では、この行動計



避難所開設・避難訓練（戸田小）

戸田小学校区 小城福祉ネットワーク

『避難所開設・避難訓練』

戸田小学校区 小城福祉ネットワークでは、高齢者部会、トワーカー会、子供部会の三部会で活動しておりますが、戸田小学校区 小城福祉ネットワークでは、高齢者部会、トワーカー会が中心となり、三十三町会長さんにも協力頂いた

災害に備え、地区全体で準備が進んでいます。避難所開設・避難訓練についてご報告させて頂きます。

会長

伊藤 勝利

集団回収感謝状

古紙再生促進センター東地区



感謝状贈呈式

寺谷小学校区 小城福祉ネットワーク
会長 大鐘 豊

（編集委員）

永年古紙の集団回収に取り組んでいる団体として、「公益財団法人古紙再生促進センター」より感謝状が贈呈されました。伊藤前会長が贈呈式に出席しました。関東では一三団体、千葉県からは市原市と印西市の二団体が授与されました。

資源回収事業は、大切な資

源の再生利用・再使用を図り、

ゴミの減量化に繋げる目的が

あります。寺谷地区では子ど

も達に資源の大切さを伝える

ため、回収日には地域の「こ

ども会」も参加し、分別作業

等一緒に取り組んでいます。

二年前の話になりますが、

寺谷小学校から四年生に「資

源回収について」授業の機会

を頂きました。緊張の初教壇

を経験しましたが、子ども達

の熱心な雰囲気が感じられま

した。後日頂いたお礼の手紙

の一部を紹介します。

「ぼくは、資源のいいつか

がわかりました。これからは

ぼくも、資源を大切にして、

ごみをへらせるとりくみをし

ます」

月戸田小城ネット役員一五名にて、災害はいつくるか分からぬこと、人生一度の尊い命をいかに守るか、という事で始まりました。毎年三回、五年八ヶ月に七〇名前後の運営委員にて勉強会を開き、十一月に避難所開設・避難訓練を実施して参りました。

それ以来今年で四回目の避難訓練になります。今年も三月に避難訓練の勉強会には運営

編集後記

現在活動を担っているのは高齢者が中心であり、勤労者や学生は参加していません。

将来の人才培养のために小

学生の社会体験で福祉活動を知つて貰つたらどうかと意見

があり、一考の余地があると思われます。

短期、中期の人才培养は切迫した超高齢化での福祉の対策として大切な取組みだと思います。



鶴舞公園の観桜会

私が伝えたかった事をします。
かりと受け止めてくれました。
さて、今年度半期分の資源回収量を前年度同期から見ますと、古紙類を筆頭に減少し、特に新聞紙の減少が目立ちました。

今後の活動に向けては、協力の呼びかけや収集方法の創意工夫により収集量を増やすよう、地域福祉に取り組んでいます。

事業の更なる活性化となるよう、地域福祉に取り組んでいます。地域の健康で明るい社会作りに貢献すべく頑張っています。

伝統の唄と踊りを将来に向けて保存するだけでなく、メンバーの活性化と過疎化する地域の健康で明るい社会作りに貢献すべく頑張っています。

児童館では、未就学児と

が、一緒に遊んだり様々な体

験をしながら、共に育つてい

く地域の遊び場です。

なのはな館の入口を入って

右奥には、児童館があります。

市内在住の0歳から十八歳未

満の子どもが利用できる施設

です。年齢の異なる子ども達

が、一緒に遊んだり様々な体

験をしながら、共に育つてい

く地域の遊び場です。

なのはな館情報

運動会、鶴舞公園の観桜会、

鶴舞歌の花見列車、市民文化

祭等で唄と踊りを披露してい

ます。高島会長以下、四七名

は町内だけでなく、光風台や

姉崎からも参加している五十

代～八十代と高齢者主体の踊

りの会ですが、歌い手や伴奏

の太鼓、三味線、尺八も加わつ

て元気な活動しています。

姉崎からも参加している五十

代～八十代と高齢者主体の踊

りの会ですが、歌い手や伴奏

の太鼓、三味線、尺八も加わつ

て元気な活動しています。

伝統の唄と踊りを将来に向

けて保存するだけでなく、メ

ンバーの活性化と過疎化する

地域の健康で明るい社会作り

に貢献すべく頑張っています。

伝統の唄と踊りを将来に向

けて保存するだけでなく、メ

ンバーの活性化と過疎化する